



<u>ライオンズフェスタ**2025**</u> ミライ献血会議

実施計画書

LCI fest 2025
Thinking about the Future
Blood Donation Conference



ライオンズフェスタ2025 ミライ献血会議

LCI fest 2025 Thinking about the Future Blood Donation Conference

- ◇ 開催日時 2025/06/22(日) 10:00-19:30 (予定)
- ◇ イベント形態シンポジウム・プレゼンテーション大会VR体験・展示会を融合したイベント
- ◇催事施設(万博会場内)
 フェスティバル・ステーション
- ◇対象とする人数規模 3000人



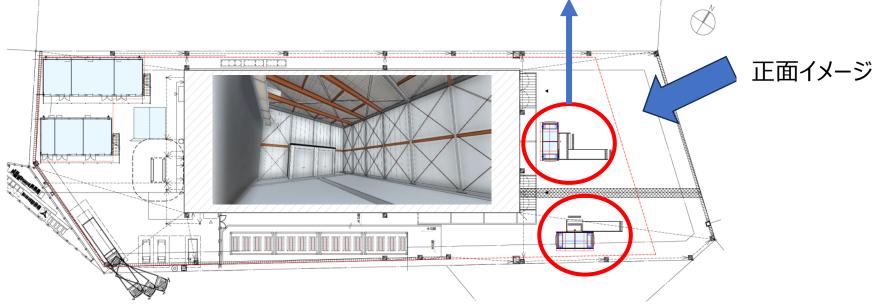


会場イメージ(外観と体験型イベントブース)



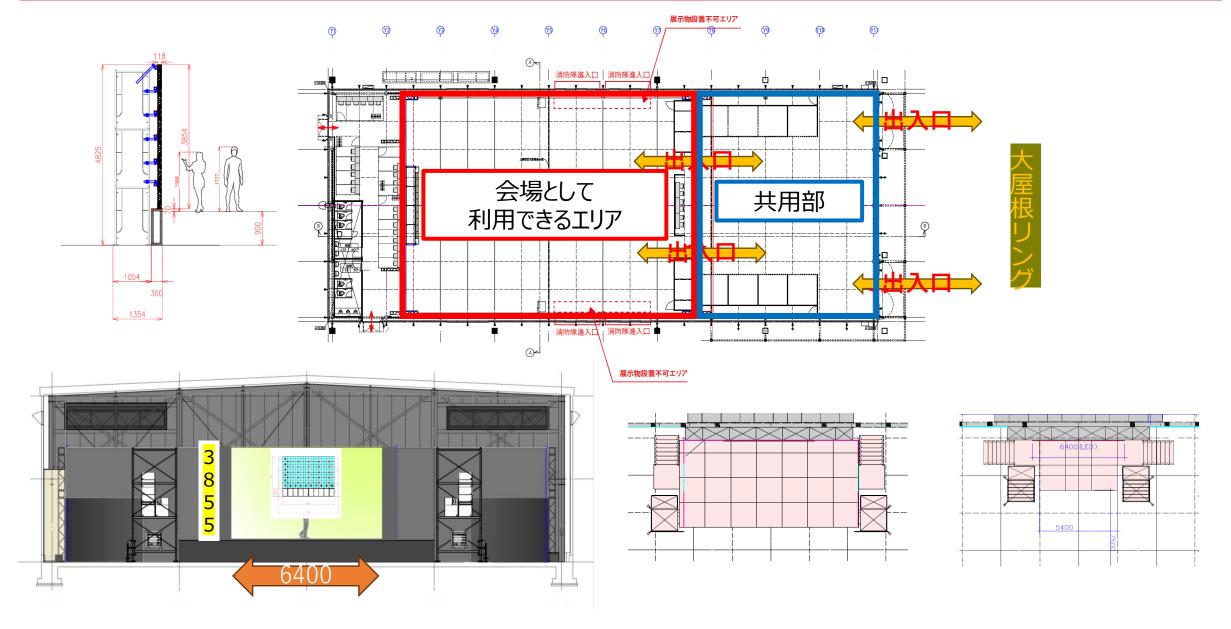






会場イメージ

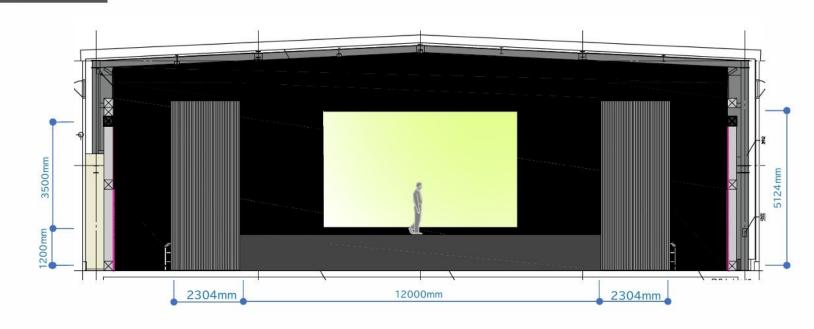




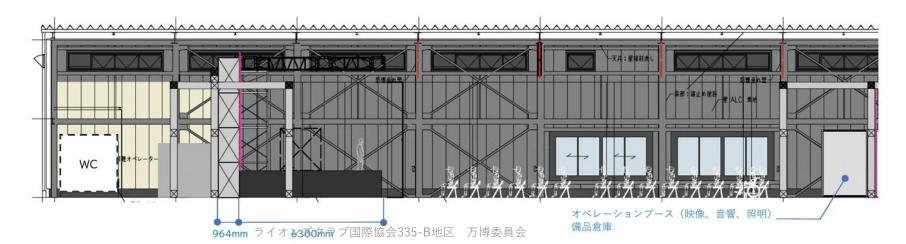
会場ステージイメージ



立面図



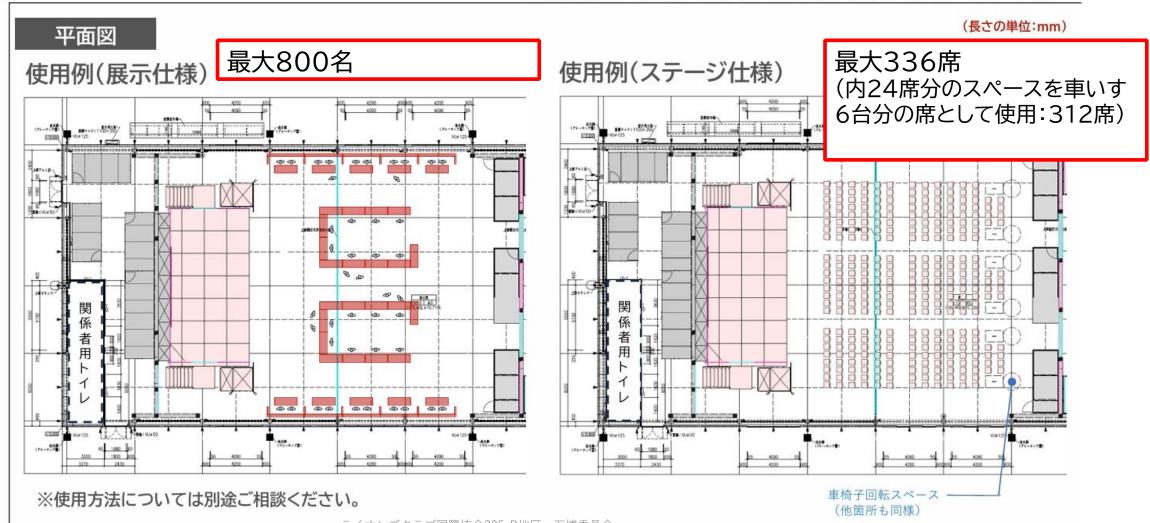
断面図





フェスティバル・ステーション (1)ステージ

※記載内容は現時点の計画です。今後変更する場合がございます。



タイムスケジュール(案)



時間帯	タイトル	概要
10:00-10:30	ウェルカムセレモニー	古川地区ガバナー
10:30-11:30	基調講演 (タイトル協議中)	城阪国際理事
インターバル		
13:00-13:30	オープニングアトラクション	ダンスコンテスト入賞者 公式ソングによる ダンス披露
13:30-14:30	ミライ献血会議 第1部:トークセッション テーマ:ミライに献血をつなぐために	ファシリテーター(選定中)・ゲストスピーカー(選定中)とZ世代の代表によるトークセッション
14:30-16:00	ミライ献血会議 第2部:プレゼンテーション大会	予選通過10組による献血をテー マとしたプレゼン
16:00-16:30	ミライ献血会議 第3部:表彰及びクロージング	プレゼン大会結果発表および表彰 式と、Z世代による「ミライ献血 宣言」採択
インターバル(設営)		椅子撤去・櫓設置
17:00-19:30	言語を越えて繋がろう!	河内音頭:盆踊り
19:30-	撤収	

メインイベントプログラム概要



■プログラム内容1

メインプログラム 1 : ミライ献血ディスカッション

ステージを中心に60分 著名ファシリテーター(選定中)、ゲストスピーカー(選定中)とZ世代の代表によるトークセッション テーマ:ミライに献血をつなぐために

メインプログラム2: ミライ献血プレゼン決勝大会

ステージを中心に10分×10組 = 100分 高校生・専門学生・大学生によるプレゼンテーション大会の決勝 予選を勝ち抜いた10組によるプレゼンテーション

メインプログラム3: クロージング

ステージを中心に15分 プレゼン大会結果発表および表彰式 Z世代による「ミライ献血宣言」採択

プレゼン大会募集概要



■第1次(募集)

応募期間 2025年3月17日(月)~4月30日(水)

応募方法 下記オフィシャルウェブサイトより応募(必要書類フォーマット下記よりダウンロード⇒ウェブ提出)

https://www.miraikennketsu.com

回答頂〈内容(エントリーシートより抜粋)

- 1.新献血プレゼンをどのようにして知りましたか? (ひとつ選択)
- 2.なぜ新献血プレゼンに参加したいのですか? (100文字以内)
- 3.日本の献血の最大の強みは何だと考えますか? (100文字以内)
- 4.日本の献血における最大の課題は何だと考えますか? (200文字以内)
- 5.献血を次世代に贈り継ぐためには何が必要だと考えますか? (200文字以内)
- 6.献血を世界に広く拡げるためには何が必要だと考えますか? (200文字以内)
- 7.献血を次世代に贈り世界に広げるためにあなた(のグループ)が果たせる役割は何ですか?(200文字以内)

■第2次審査(最終選考会)

5月上旬:書類選考により15組選考⇒動画又はzoom等による最終選考会⇒10組をプレゼン大会決勝へ招待

最終選考会メンバー:キャビネット5役・GST委員会・万博委員会

プレゼン大会募集に関する情報発信ご協力のお願い



- ■募集(応募)発信先(対象:高校生·大学生·各種専門学校生)
 - 1.クラブ ⇒ メンバーのご家族・ご親戚・友人・知人のお子様 献血活動場所として協力頂いている高校・大学・各種専門学校 クラブのアクティビティとして学生弁論大会等を実施しておられる協力先 クラブ又はメンバー個人のSNSによる発信 RC・ZCの方は各クラブへの周知にご協力お願いします。 クラブ理事会・例会及び連絡網(ライングループ等)を通じて告知をお願いします。
 - 2.レオ委員会 ⇒ 335-B地区内・MD335内(全16クラブ)のレオクラブ
 - 3.GST委員会 ⇒ 日本赤十字社:全国学生献血推進実行委員会 近畿ブロック/近畿学推
 - 4.M C 委員会 ⇒ 公式サイトによる告知
 - 5.各種委員会 ⇒ 委員会メンバー
 - 6.キャビネット5役 ⇒ 日本ライオンズ (特にMD335)・地区年次大会
 - 7.国際理事 ⇒ 国際協会

常設イベントプログラム概要



■プログラム内容2

サブプログラム 1: VRで体験する献血の旅(予定:体験型イベントブース)

体験スペースにてメインプログラム以外の時間帯 オリジナルVRコンテンツにより、献血された血液がどのように人の命を救う旅に出かけるかを体験 協力:VR制作(大阪ライオンズクラブ:清風情報工科学院)

サブプログラム 2 : 献血パネル+LCIF活動+モザイクアート展示

会場壁面にて常設

献血に関する情報を、基本情報と現状、課題、日本ライオンズクラブと献血の関係にまとめてパネルで展示 LCIFによる世界での献血関係奉仕活動展示、モザイクアート作品を展示

協力:GST委員会·LCIF委員会

来場者配布物(予定)

ミライ献血マニュアル (献血の現状と課題、未来をまとめた冊子又はデジタルデータ)

イベントの特徴



「献血」は重要な医療システムのひとつとして人の命を力強く支えています。 しかし、少子高齢化により輸血の需要が高まる一方で供給が減少するという課題に直面しています。 次世代以降も人の命を支え続ける仕組みとして「献血」が存続し続けるために、

正しい理解をもとに次代へ贈り継いでいく必要があります。

「献血」の促進に大きく寄与してきたライオンズクラブが、「献血」を次代につなげていくために、様々な手法で「献血」を知り、体験し、感じ、考える「ミライ献血会議2025」を開催します。

特徴1. 見ること、知ること、体験すること、感じること、考えることの融合

パネル展示はもちろんのこと、自分が血液になって献血輸血の旅をVRで体験し、Z世代によるプレゼン大会やトークセッションで考える、様々な手法で献血についての理解を深めます。

特徴2.次世代を中心に幅広い世代にリーチ

プレゼン大会を通じてZ世代にリーチするのはもちろん、VR体験を通じて子供からお年寄りまで幅広くリーチします。

特徴3. ライオンズクラブと学生団体のネットワークによる告知

全世界140万人のライオンズクラブメンバーはもちろんのこと、献血関連学生団体を通じた幅広い告知で開催当日の機運を高めるとともに献血について知る機会を提供します。



特徴4. ウェブメディアやSNSを駆使した事前告知と事後継続

プレゼン大会の予選開催をメインコンテンツとして事前告知を展開することで事前に献血を知る機会を提供するとともに、実施後についても学生団体等への支援を通じて次世代による献血促進活動を支え続けます。

特徴5.ミライ献血宣言の採択による指針の策定

クロージングセレモニーでは、Z世代たちがさらに次世代へと「献血」を贈り継いでいくために考案した「ミライ献血宣言」を 採択し、その後の活動の指針とするとともに、宣言を広く発信することで「献血」について考える機会を提供します・

特徴 6. ミライ献血会議の学生団体による継続開催(案)

「ミライ献血会議」プレゼン大会の最優秀賞(大賞)賞品として、ライオンズクラブがその活動を支援する仕組みを構築し、優勝チーム(又は個人)主催による会議開催等を継続し、次世代がさらに次世代へと「献血」のタスキをつなげる仕組みを提供します。(内容調整中)

万博会場外の取組み



■ウェブメディアやSNSを利用した献血に関するコンテンツの発信

万博の機運に歩調を合わせる形で「献血」を親しみのあるコンテンツとして幅広い世代に発信し、開催までの告知につなげます。

- ・「ミライ献血会議2025」オフィシャルサイトでの情報発信
- ・上記と連動したSNSによる情報発信

■「ミライ献血会議2025」の告知

ライオンズクラブが持ち合わせる世界的ネットワーク(世界約140万人、国内約10万人)を駆使した告知を展開します。 学生の献血関連団体が有するネットワークを活用した告知を展開します。

- ・ライオンズクラブ国際協会と連携した情報発信
- ・学生団体による情報発信

■プレゼン大会の予選大会の開催

プレゼン大会の募集と事前の予選大会開催を通じて学生団体を中心に機運を醸成し、周囲への情報発信につなげます。

- ・プレゼン大会の告知・募集(ライオンズクラブ連携先/レオクラブ・高校・大学・各種専門学校等)
- ・プレゼン大会の予選大会開催

万博終了後の取り組み



■ウェブメディアやSNSを利用した献血情報発信

輸血需要に対応できる献血量を確保することが困難になるという課題を広く発信し、 特に供給側の将来の主役であるZ世代に献血の重要性を再認識してもらいます。

- ・献血情報ポータルサイト
- ・上記と連動したSNS

■Z世代による献血情報発信支援

同世代からの情報発信により献血に対する正しい理解を広めるため、 Z世代による情報発信を支援することで、Z世代ならではの情報発信につなげます。

- ・情報発信プラットフォームの提供
- ・情報発信ノウハウの提供
- ・発信情報ソースの提供

■「ミライ献血会議」の継続開催支援(次回は学生団体主催)

Z世代による献血活動の基盤として「ミライ献血会議」を学生団体による主催にて継続することとし、 その開催を支援することで次世代からその次の世代へと献血のバトンを贈り継ぐ仕組みを構築します。

・開催支援(ノウハウ・人的・費用支援)

予算案(地区会計:万博委員会予算250万円)



項目	予算内容	支出予定額
会場基本使用料	フェスティバル・ステーション ¥188,530 (電気代等含む) 体験型イベントブース ¥43,480 (電気代等含む) 合計¥232,010	¥232, 010
会場オプション使用料	予備費	¥100, 000
盆踊り設営費用	櫓設営	¥200, 000
ダンスチャレンジコンテスト関係	表彰関係	¥ 5 0, 0 0 0
展示パネル関係	フォトモザイクアート¥300,000 展示パネル製作¥100,000	¥400, 000
外注費(コンサル料・当日オペ レーションを含む)	オフィシャルホームページ開設維 持とプレゼン大会システム全体	¥1, 500, 000
地区会計小計		¥ 2, 4 8 2, 0 1 0
バーチャルリアリティー (VR)	VR制作・当日VR機器レンタル	大阪LC万博特別会計より

予算案(地区シェアリング交付金申請)



項目	予算内容	支出予定額
ダンスチャレンジコンテスト 参加者招待費用	10組 x 10人 = 100名 * 当日出場5組 * 一次予選通過5組	¥1, 100, 000
プレゼン大会参加者招待費用	10組 x 15人=150名	¥ 1, 6 5 0, 0 0 0
プレゼン大会1次選考通過者 (補欠5組)招待費用	5組 x 15人 = 75名	¥825, 000
清風情報工科学院生招待費用	100名	¥ 1, 1 0 0, 0 0 0
総人数	425名 x ¥11,000	¥4,675,000
【備考】 1.招待対象者 ライオンズクラブメンバー以外に 限る。 2.招待費用¥11,000円/人(税 込)	【招待費用に含まれるもの】 入場券 パビリオン抽選予約(1回分) フードコート指定席(50分) フードコートミールクーポン券 (¥1500相当) *JTB団体特別パッケージ	
ドル換算	¥ 4,675,000/154.72円 (2月ライオンズレート)	\$ 3 0, 2 1 5



ライオンズによる献血奉仕活動の実績(335-B地区=大阪·和歌山地域 2022/07~2023/06)

回数:985回

人 数:約46,400人(日本全体の献血の10%相当)

採血量:約1,750万mL







ライオンズクラブについて



ライオンズクラブは1917年に創設され、世界210か国以上における約5万のクラブと140万人の会員によって、 地球上のほぼすべての国で奉仕の手と心を携えて地域社会に貢献しています。

また、ボランティア活動を通じて青少年に個人的成長の機会を提供するレオ・プログラムには、 世界で7,700以上のクラブと20万人以上のレオによる活動を続けています。

その日本国内ネットワークである日本ライオンズクラブは、全国2800以上のクラブと約10万人の会員で構成されています。

ライオンズクラブ国際協会 ウェブサイト https://www.lionsclubs.org/ja

ライオンズクラブ国際協会335-B地区 ウェブサイト https://lc335b.gr.jp/

ライオンズクラブ国際協会335-B地区 活動紹介動画 https://www.youtube.com/watch?v=KuCC85Uk3hc&t=94s